

## はじめにお読みください

このたびは、弊社の内蔵 DAT160 ユニット(以降、本製品)をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本製品のユーザーズガイドをご覧になる場合は、下記に示します内容を合わせてお読みくださるようお願いいたします。

2013年11月

## 1 ご使用の前に

### 安全上の注意

- ・異物(水・金属片・液体など)が本製品の内部に入った場合は、すぐにサーバ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから取り外してください。その後、修理相談窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
- ・開口部(通風孔など)から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。感電・火災の原因となります。
- ・本製品をお客様自身で分解・解体・改造しないでください。感電・火災の原因となります。
- ・お使いのサーバ本体に添付の『安全上の注意およびその他の重要情報』または『安全上のご注意』を合わせてお読みください。『安全上の注意およびその他の重要情報』、『安全上のご注意』には、安全にお使いいただくための注意事項が記載されています。

### 本製品の取り扱いについて

- ・寒い場所から暖かい場所へ移動したり、室温を急に上げたりした直後は、内部が結露する場合がありますので、使用しないでください。結露したままお使いになると、本製品やデータカートリッジを損傷することがあります。大きな温度変化があったときは、1時間以上待ってから電源を入れてください。
- ・本製品にセットされたデータカートリッジ(磁気テープ媒体)は、データ記録面が装置内部で露出しており、設置環境(特に塵埃)の影響を受けやすい傾向があるため、ホコリの少ない環境への設置をお願いします。一般的に、床面に近いほど塵埃濃度は高くなるので、机上など床面より離れた場所への設置をお勧めします。
- ・データカートリッジを入れたまま本製品を持ち運ばないでください。
- ・データカートリッジを挿入時、無理に押し込まないでください。
- ・本製品前面の汚れは、柔らかい布でからぶきするか、布に水または中性洗剤を含ませて、軽くふいてください。ベンジンやシンナーなど揮発性のものは避けてください。

### 本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的な用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途(以下「ハイセイフティ用途」という)に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください。

## 2 添付品がそろっていることを確認してください。

### PY-DT201 の添付品

- 内蔵 DAT160 ユニット
- クリーニングカートリッジ DAT160
- 保証書
- 内蔵 USB ケーブル 及び DC 延長ケーブル [一式] \*1
- 富士通バックアップデバイスの情報/Relevant Information for Fujitsu Backup Devices
- オプション製品に関するユーザ情報

### PYBDT201 の添付品

---

- 内蔵 DAT160 ユニット \*2
- クリーニングカートリッジ DAT160
- 保証書 \*3
- 接続ケーブル [一式] \*2
- 富士通バックアップデバイスの情報/Relevant Information for Fujitsu Backup Devices

### PY-DT202 の添付品

---

- 内蔵 DAT160 ユニット
- クリーニングカートリッジ DAT160
- 保証書
- 内蔵 USB ケーブル [一式] \*1
- 富士通バックアップデバイスの情報/Relevant Information for Fujitsu Backup Devices
- オプション製品に関するユーザ情報

### PYBDT202 の添付品

---

- 内蔵 DAT160 ユニット \*2
- クリーニングカートリッジ DAT160
- 保証書 \*3
- 接続ケーブル [一式] \*2
- 富士通バックアップデバイスの情報/Relevant Information for Fujitsu Backup Devices

\*1: 一般型名 (PY-DT201, PY-DT202) には、本製品と搭載可能なサーバ本体を接続するためのケーブル一式が添付されています。ご使用のサーバのマニュアルを参照し、適切なケーブルをご使用ください。

\*2: BTO 型名 (PYBDT201, PYBDT202) の場合は、サーバ本体に組み込まれています。

\*3: BTO 型名 (PYBDT201, PYBDT202) の場合は、サーバ本体の保証書に含まれます。

## 3 マニュアルおよびドライバの入手先

---

本装置の「マニュアル」「デバイスドライバ」は、ServerView Suite DVD または以下の公開サイトから入手可能です。

- ・デバイスドライバ: <http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/downloads/>
- ・マニュアル: <http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/manual/>

## 4 本装置の搭載、接続について

---

- ・本製品をサーバに搭載する際は、サーバ本体の『アップグレード&メンテナンスマニュアル』または『オプションガイド』または『オペレーティングマニュアル』などのマニュアルに従って搭載してください。
- ・本製品をバックアップキャビネットに搭載する際は、バックアップキャビネットの取扱説明書などに従って搭載してください。

※ 装置の破損を防止するため、静電気対策を施してください。

## 5 デバイスドライバのインストール

---

- **ご使用のオペレーティングシステムに応じて手順が異なります。**
  - ・ 本装置を Windows にてご使用になる場合は、USB ポート用の MSC(Mass Storage Class)ドライバとテープ装置用のドライバの 2 種類のインストールが必要です。  
(Windows Server 2012 R2 をご使用の場合は、MSC(Mass Storage Class)ドライバのインストールは必要ありません。)  
後述の『デバイスドライバのインストール手順』を参照してください。
  - ・ Linux ベースのオペレーティングシステムをご使用の場合は、デバイスドライバのインストールは必要ありません。
  
- **デバイスドライバのインストール手順**
  - ◇ **弊社 Web サイトからダウンロードしたデバイスドライバを使用する場合**  
ドライバに同梱されている readme を参照し、ドライバをインストールしてください。
  - ◇ **ServerView Suite DVD1 をご使用になる場合**  
以下のフォルダに格納されている readme を参照し、ドライバをインストールしてください。  
¥DRV¥TAPE¥HP¥ALL¥Windows
  
- **最新のデバイスドライバは以下のサイトからダウンロードできます。**  
<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/downloads/>
  
- **本製品を Windows Server 2012 でご使用になる場合**  
本製品を Windows Server 2012 でご使用になる場合は、  
「内蔵 DAT72/DAT160 ユニット デバイスドライバ for Windows Server」の“V3.0L00”以降の版数をご使用ください。  
尚、本デバイスドライバを含む最新版は、弊社 Web サイト(以下)よりダウンロードできます。  
<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/downloads/>
  
- **本製品を Windows Server 2012 R2 でご使用になる場合**  
本製品を Windows Server 2012 R2 でご使用になる場合は、  
「内蔵 DAT72/DAT160 ユニット デバイスドライバ for Windows Server 2012 R2」の“V1.0L10”以降の版数をご使用ください。  
尚、本デバイスドライバを含む最新版は、弊社 Web サイト(以下)よりダウンロードできます。  
<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/downloads/>

## 6 バックアップソフトウェアについて

---

本装置をサポートするバックアップソフトウェアに関する情報は、以下を参照ください。

- ・ CA ARCserve Backup をご利用になる場合  
<http://software.fujitsu.com/jp/arcserve/>
- ・ NetVault をご利用になる場合  
<http://software.fujitsu.com/jp/netvault/>
- ・ Symantec Backup Exec をご利用になる場合  
<http://software.fujitsu.com/jp/symantec/>

## 7 使用できるカートリッジについて

本製品には、次の富士通純正品を使用されることをお勧めします。

品名	商品番号	購入単位	備考
データカセット DAT CT20G	0121190	1 巻	容量 20GB [注]
データカセット DAT CT36G	0121210	1 巻	容量 36GB [注]
データカートリッジ DAT160	0121220	1 巻	容量 80GB [注]
クリーニングカートリッジ DAT160	0121240	1 巻	

注：データ圧縮機能を使わない場合の値です。 記憶容量は、1GB=1000 × 1000 × 1000byte 換算です。

### 【 お問合せ先 】

上記の富士通純正品は、富士通コワーコ株式会社の取り扱い品です。

富士通コワーコ株式会社 お客様総合センター (<http://jp.fujitsu.com/group/coworco>)

電話:0120-505-279

ご利用時間:月曜日~金曜日 9:00 ~ 17:30(土、日、祝日、年末年始を除く)

## 8 クリーニングについて

### ➤ 使用できるクリーニングカートリッジ

本装置では、クリーニングカートリッジ DAT160【商品番号：0121240】のみ使用可能です。

(クリーニングカートリッジ DAT-N【商品番号：0121170】はご使用できません)

### ➤ クリーニング運用について

本装置は、以下のような場合にクリーニングが必要です。

#### ・ クリーニング要求 (Clean LED) があつた場合

本製品は、突発的に磁気ヘッドにゴミがついた場合や、データカートリッジ (磁気テープ媒体) が痛んでいた場合にクリーニング要求状態になります。

#### ・ 定期的なクリーニング

内蔵 DAT160 ユニットは使用・未使用に関わらず、浮遊塵埃などの影響により磁気ヘッドが汚れるため、定期的なクリーニングが必要です。

- 定期的に使用する場合 : 1 週間毎 (1 週間に 25 時間以上バックアップする場合は、25 時間使用毎)
- 定期的に使用しない場合 : 1 ヶ月毎または 25 時間使用毎

定期的なクリーニングを忘れない為、一般的には「毎週月曜の朝」などクリーニングを実施する曜日を決めて運用するなどをお勧めします。

定期的なクリーニングを忘れないために、OS の標準機能を利用し定期クリーニングを通知する手法

『OS 標準機能でテープ装置の定期クリーニングを通知する方法』を公開しております。

公開サイト (以下、URL) よりダウンロードできます。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/technical/construct-guide/backup/>